

都立国際高校 年間授業計画 / Tokyo Metropolitan Kokusai High School Course Syllabus

科目基礎情報 / Course information

開講年度 / Academic year	令和5年度 / 2023年度
開講学科 / Department	国際学科国際バカロレアコース / IBDP(International Baccalaureate Diploma Programme)
教科 / Subject	IBDP Studies in language and literature
科目 / Course Title	Japanese A: Literature HL
学年・クラス / Year・Class	DP2 (3年生)
単位数 / credits	6

科目概要情報 / Course description

講座概要 / Course description	「言語A:文学」コースは、日本語を母語(第一言語)とする生徒を対象に、文学批評に関わる文学的な技法についての理解を深め、文学作品を独自に批評する力を育成するコースである。	
到達目標 / Course objectives	①文化的背景が異なる人々のものの見方があることへを認識する。 ②自分の言語文化に対して尊重する気持ちを養う。 ③表現力(口述および記述によるコミュニケーション)を見につける。 ④文学批評に使用される技法について理解する。 ⑤文学作品を独自に批評し、論拠をもって構成する能力を身につける。	
評価方法と評価基準 / Evaluation method and criteria	外部評価 筆記試験 試験問題1:設問つき文学分析(2時間15分) 試験問題2:比較小論文(1時間45分) 記述課題 HL小論文	内部評価 個人口述 (Individual Oral)
教科書 / Textbooks	夏目漱石『三四郎』(角川文庫)、阿部公房『友達・棒になった男』(新潮文庫)、有吉佐和子『華岡青洲の妻』(新潮文庫)、谷川俊太郎『二十億光年の孤独』(集英社文庫)、村上春樹『風の歌を聴け』(講談社文庫)、上田秋成『雨月物語』(ちくま学芸文庫)、群像『おんなのつば』(新潮文庫)、ヘンリック・イブセン『人形の家』(岩波文庫)、カズオ・イシグロ『日の名残』(ハヤカワepi文庫)、ジョージ・オーウェル『動物農場』(ハヤカワepi文庫)、ジョン・スタインベック『ハツカネズミと人間』(新潮文庫)、サミュエル・ベケット『ゴドーを待ちながら』(白水リブックス)、『完訳三国志』(岩波文庫)	
校外学習 / Field trip	予定なし	

授業計画 / Course schedule

	指導項目 / Topic	指導内容 / Contents	評価の方法・基準 / Evaluation method and criteria	予定時数 / Alotted hours
1学期 / 1st semester	4月	作者、読者、テキスト ○小説の面白さを味わわせ、主体的な読解の仕方を身につけさせる。 ○言葉の持つ象徴性や美しさを分析し、言葉に対する感受性を豊かにする。 ○作者の技巧や表現などを分析し、自分の解釈を的確に表現させる。 ○登場人物の人物像や心理を理解し、自己の生き方について考えさせる。 ○作品について他者と話し合い、自分の考えを深めさせる。 ○最終試験の比較分析に必要な項目について整理し、各作品の理解を深める。	関心・意欲・態度 / 話す・聞く能力 / 書く能力 / 読む能力 / 言語についての知識・理解・技能、 分析批評	22
	5月	最終課題(IA) 個人口述に向けた復習 ○演習を通して個々の作品に対する理解をさらに深める。 ○作者の技巧や表現などを分析し、自分の解釈を的確に表現させる。 ○登場人物の人物像や心理を理解し、自己の生き方について考えさせる。 ○作品について他者と話し合い、自分の考えを深めさせる。 ○個人口述の形式に慣れさせる。	関心・意欲・態度 / 話す・聞く能力 / 書く能力 / 読む能力 / 言語についての知識・理解・技能、 個人口述(10)	22
	6月	最終試験課題演習 Mockに向けた復習 ○演習を通して個々の作品に対する理解をさらに深める。 ○作者の技巧や表現などを分析し、自分の解釈を的確に表現させる。 ○登場人物の人物像や心理を理解し、自己の生き方について考えさせる。 ○作品について他者と話し合い、自分の考えを深めさせる。 ○Paper 1の形式に慣れさせる。	関心・意欲・態度 / 話す・聞く能力 / 書く能力 / 読む能力 / 言語についての知識・理解・技能、 個人口述(10)	34
	7月	最終試験課題演習 Mockに向けた復習 ○演習を通して個々の作品に対する理解をさらに深める。 ○作者の技巧や表現などを分析し、自分の解釈を的確に表現させる。 ○登場人物の人物像や心理を理解し、自己の生き方について考えさせる。 ○作品について他者と話し合い、自分の考えを深めさせる。 ○Paper 1の形式に慣れさせる。	関心・意欲・態度 / 書く能力 / 言語についての知識・理解・技能、	32
2学期 / 2nd semester	9月	最終試験課題演習 学習した作品の復習 ○小説の面白さを味わわせ、主体的な読解の仕方を身につけさせる。 ○言葉の持つ象徴性や美しさを分析し、言葉に対する感受性を豊かにする。 ○作者の技巧や表現などを分析し、自分の解釈を的確に表現させる。 ○登場人物の人物像や心理を理解し、自己の生き方について考えさせる。 ○作品について他者と話し合い、自分の考えを深めさせる。 ○最終試験の比較分析に必要な項目について整理し、各作品の理解を深める。	関心・意欲・態度 / 書く能力 / 言語についての知識・理解・技能、 最終試験: Paper 1, Paper 2	22
	10月	最終試験演習(Paper 1, Paper 2) ○演習を通して個々の作品に対する理解をさらに深める。 ○作者の技巧や表現などを分析し、自分の解釈を的確に表現させる。 ○登場人物の人物像や心理を理解し、自己の生き方について考えさせる。 ○作品について他者と話し合い、自分の考えを深めさせる。 ○Paper 1の形式に慣れさせる。	関心・意欲・態度 / 書く能力 / 言語についての知識・理解・技能、 最終試験: Paper 1, Paper 2	32
	11月	IBDP最終試験 ○試験問題1の演習:過去問題から抽出した質問項目に沿って初見作品分析する。	関心・意欲・態度 / 書く能力 / 言語についての知識・理解・技能、 最終試験: Paper 1, Paper 2	22
	12月	振り返り ○主として下記の点について、「日本語A:文学」2年間の学習過程を振り返る。 ・文学の探究を通して、「十の学習者像」の諸要素をどのように身につけることができたか。 ・文学の探究を通して、どの程度ATLスキルを身につけることができたか。 ・文学の探究を通して、自身の思考のスタイルにはどの程度 / どのような変化があったか。	関心・意欲・態度 / 言語についての知識・理解・技能	12
3学期 / 3rd semester	1月	文学理論補講 ○テキスト理論(現象学、構造主義)	関心・意欲・態度 / 言語についての知識・理解・技能	10
	2月	文学理論補講 ○テキスト理論(ポスト構造主義)	関心・意欲・態度 / 言語についての知識・理解・技能	10
	3月	批評実践 ○文学テキスト、非文学テキスト批評	関心・意欲・態度 / 言語についての知識・理解・技能	10